

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会議の名称	令和4年度第1回図書館協議会		
開催日時	令和4年7月1日（金）午後6時30分～8時00分		
開催場所	茅野市図書館 閲覧室		
出席者	矢崎智義委員長、岩崎和子副委員長、田村満理委員、志水琴美委員、松岡隆志委員、両角薫委員、細川美歩子委員、濱喜一郎委員、松木美希委員、百瀬るみ委員、牛山真弓委員、山田教育長、北沢生涯学習部長、竹内生涯学習課長、五味図書館長、北澤図書館係長、図書館職員		
欠席者	戸田茂生委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
教育長	<p>1 開会（生涯学習課長）</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>お集まりいただきありがとうございます。今年度第1回目の図書館協議会です。茅野市の図書館を作り上げていく会になりますので、どうかご意見をよろしくお願いします。それから今日は県立長野図書館長にお越しいただいて、講和「これからの図書館の目指すもの」をお聞きしますのでよろしくお願いします。</p> <p>私は20年ほど前、長野にいた時に県立長野図書館が好きで何回も通いました。とても好きな場所のひとつです。今日はどんなお話が聞けるのか大変わくわくしています。それから、図書館協議会の時に私はいつも一冊の本を紹介しているのですが、今日もまた紹介したいと思います。</p> <p>正岡子規の「仰臥漫録」です。正岡子規が34歳で脊髄カリエスで亡くなったのですが、亡くなる1年前から書いた病気の日記のようなものです。何が面白いかというと、毎日の食事の内容が書いてあるんです。例えば、9月3日の食事はというと、朝がぬく飯2椀、佃煮、梅干、牛乳5勺ココア入り、菓子パン数個。それからお昼が粥3椀、鰹の刺身半分、わらさの刺身、味噌汁1椀、煎餅3枚、氷レモン1杯。夕食には粥が2椀、わらさ煮、三度豆、芋2つ3つ、鮭少し、糸蒟蒻、梨1つ。病気療養中でそんなに食べられないだろうと思っていたのですが、思っていたよりたくさん量を食べている訳ですね。</p> <p>それで、私自身今まで何か本を読むときに、目的があってこの本を読む必要があるからとか、仕事に関係ある本なので3日でこの本を読み終えなければいけないとかいうのをやめて、好きな時に好きなページを開いて読むようにしました。そうしたらとても楽しくなりました。ですので図書館は来たら自分のペースで本が読め、自分のペースで本が借りられる、そういう場所であるということも必要だなと思います。正岡子規の俳句の中にこんな俳句があります。「茗荷より かしこさうなり 茗荷の子」一般的に子は親に似るものですが、茗荷に限っては親よりも子のほうが賢いんだと</p>		

	<p>いう、ユーモアの混じった句でこの句を詠んだ正岡子規がとても大好きになりました。今日はよろしくお願ひします。</p>
	<p>3 委嘱書の交付 教育長から各委員へ交付</p>
	<p>4 自己紹介 (委員及び職員が自席で自己紹介を行う)</p>
図書館係長	<p>5 審議会の公開について (資料2により、審議会等の公開について事務局から説明)</p> <p>(特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定)</p> <p>(事務局から、会議の出席状況と傍聴者について報告)</p>
	<p>6 会議事項</p>
委員長	<p>(1)令和4年度図書館運営状況について 会議事項に移ります。「令和4年度図書館運営状況について」ということで、図書館長お願いいたします。</p>
図書館長	<p>(資料1・3について、図書館長から説明を行う)</p>
	<p>(2) 県立長野図書館長 講和 「これからの図書館のめざすもの」</p>
委員長	<p>講和について質問等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>高校生になると子どもたちのスマホにすでに電子書籍が入っていることが多いのですが、図書館として提供できる電子書籍はとてめありがたいなと思います。調べ学習やアクティブラーニングといった学習方法に切り替わっていく中で、個人で電子書籍を購入するのではなく、借りることができるというのは利活用がいいと思います。8月5日から運用される電子図書館は長野県内に在住・通勤・通学している人が対象ということですが、県外へ出てしまう子どもたちは、継続して利用することが可能なのでしょうか。</p>
県立長野図書館長	<p>県境の近い市町村ですと、越境して進学することがあるので、県民と云ってしまうとそのような越境で通学する学生に提供できないのはよくないね、ということで通学・通勤する人も利用できるようにしたのですけれど、県内の人が県外に出た場合は、住所地が県内であれば利用できますので、対象になります。例えば東京の大学に進学して、住所も、住民票も東京に移してしまったという方は対象外です。逆に、長野県は他県からの大学生が多いのですが、住民票を移さずに進学してくる大学生も多くいますので、そういった学生にも使ってもらえるように住んでいる実績があれば利用できますし、別荘の方にも使っていただけますので、なるべく多くの方に使っていただけるように配慮をするようなルールが決められています。</p>

委員	<p>ありがとうございます。もう1点よろしいですか。 今後運用していくにあたって、私たち学校司書として子どもたちに登録を促すようなアプローチをしてくださいと言われるのかなと思っているのですが、情報発信はどのようにしていけばいいのでしょうか。</p>
県立長野図書館長	<p>実はおっしゃる通り、公共図書館の方から各学校さんに対して広報にご協力いただけませんかというお願いの通知が近々出るようになっていきます。学校さんがクラス単位、また学校単位で全員登録しましょうというのはまだ先の話だと思うのですが、それぞれがお住まいの自治体の公共図書館とか公民館図書室で登録をしていただくという形で勧めていただけたらありがたいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>先ほどの講演は非常に夢のあるお話で、熱意を感じることができた良いお話だったと思います。今、先生からもお話がありましたが私の大学でも電子書籍はコロナになってから利用率が上がっています。コロナの前から電子書籍は導入していたんですけども、コロナで学生がなかなか自分で図書館に来られないというような状況の中で電子書籍というのは非常に可能性のあるツールだなと思っています。県立長野図書館や茅野市図書館を利用しようということをぜひ学生にアピールしていきたいなと思っているのですが、今はもうスマホで何でも調べられますよね。なので「図書館」が今の情報ネット社会の中で光って見えるというか際立って見えるような形で、どうアピールできるのか具体的なイメージが湧かないのですが、どのようにアピールしていけばいいのでしょうか。</p>
県立長野図書館長	<p>ありがとうございます。私も大学図書館に長くいましたので、学生さんの情報行動の中にどう図書館を埋め込んでいくのかというのは、とても大事なテーマでした。先生がおっしゃる通りデジタルネイティブ世代の方たちというのは、図書館が人に吟味されて、出版をされて、世の中に認められた情報が塊としてある建物、というような認識はほとんどなくて、周りが自由な情報だらけの中でなぜわざわざ図書館へ行くのかという状態です。その中で図書館に行きたいとか、図書館の情報を使いたいと思ってもらうためにはどうしたらいいかというと、やはり、必要なコンテンツ・魅力的なコンテンツがあることに気づいてもらうことだと思うんですね。</p> <p>確かに周りには情報がいっぱいなわけですが、あまりにも情報が溢れすぎていてどれが本当に正しいのかとか、検索エンジンの上位を見ればそれで本当にいいんですかと思ってしまうようなところがあります。もうちょっとちゃんと調べた場合と、ネット上の上位に出てくるものを使った場合とで出来あがったもの、自分のアウトプットしたもののクオリティが違うんだという実感がない限り、多分易きに流れてしまうと思います。</p> <p>例えば、何か物を作りたい時には、動画を見た方が静的なコンテンツである本よりもわかりやすいということがあって、そういう場合には圧</p>

<p>生涯学習課長</p>	<p>倒的に動画コンテンツのメリットがあるわけですからそれを使うというのは良いと思います。でもその動画を見てもっと深く知りたくなった時にもう一度図書館の電子書籍なり紙の本なりが必要になることがあるかもしれないなど。そこを結びつける線が今まだ見えていないんじゃないかと思います。動画を見たらそれで十分でそれで終わる、というのが今なのではっきりとした答えがある訳ではないのですが、やはり信頼性の高い情報を発信し続けること、そしてそれを使ったアウトプットのクオリティーの高さをもっと認めていくというような動機づけも必要なかもしれないなどと思います。</p> <p>情報リテラシーとか、人が書いたものを引用することの大切さとかは教育の力ではないかと思ひますし、それから大学の図書館には読み物系の本はあまりないので、ちょっと気軽に読みたいなという場合には公共図書館の協働電子図書館があるのでぜひ読んでみたらと勧めさせていただいて、動機づけをしていただけたらなと思ひます。</p> <p>(3) 質疑応答 (特になし)</p> <p>7 閉会 それでは以上をもちまして令和4年度第1回茅野市図書館協議会を閉会といたします。お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">～午後8時 会議終了～</p>
---------------	---